

SAPIX	5年										
	算数										
学習内容	冬期講習03回 比と割合 冬期講習04回 速さに関する問題 35回 ニュートン算 36回 場合の数 (2) 37回 平面図形総合										
家庭学習 ポイント	冬期講習会の後半は03回「比と割合」04回「速さに関する問題」と、5年生の学習で最重要分野です。来年の学習にももちろんつながっていく内容ですので、しっかり身につけておきたいですね。冬期講習の日程、時間は余裕があるものとなっています。不安が残る分野があれば復習の時間をとるようにしましょう。第35回「ニュートン算」は初めて学習する内容です。はじめの量・入ってくる量・出していく量の3者の単位時間当たりの変化をセットで把握する必要があります。受験算数の中でも、かなり抽象度の高い思考を必要とする分野ですね。図などにまとめて整理する習慣が大切です。自分なりに解法を「パターン化」することを心がけましょう。第36回は「場合の数」ですが、5年生も終盤になると計算で解く問題が多くなります。丸暗記ではなく、正答の理由、考え方を正確に理解しておくことが必要です。調べ上げる問題は、大きい方から順に調べる、などといった自分なりの「決まり」を作っておくと、抜け漏れが出にくくなります。第37回「平面図形総合」ではとにかく「手を動かして考える」ことを意識しましょう。面積比や相似など、比の考え方を使ってシンプルに解くことをしっかり訓練する機会になりますね。										
課題の把握と解決策	チェック1	冬期講習会で「できたこと」「できなかったこと」を把握できていますか?			チェック						
	解決策	時間に余裕がある冬休み、復習の必要がある分野をリストアップしましょう			<input type="checkbox"/>						
	チェック2	比の考え方を使って速さの問題を解くことに習熟していますか?			チェック						
	解決策	入試でも多いのが「速さと時間の逆比」「速さと進んだ距離の比」などを利用する問題です			<input type="checkbox"/>						
	チェック3	ニュートン算の「自分なり」の解き方が身についていますか?			チェック						
	解決策	よくわからないまま放置されがちな(5年生には難しい)単元ですが、乗り切りましょう			<input type="checkbox"/>						
	チェック4	場合の数の計算と書き上げ、使い分けられていますか?			チェック						
	解決策	公式を丸暗記するのではなく「書き上げられるが手間を省くために計算」という考え方で			<input type="checkbox"/>						
	チェック5	面積比や相似の問題を苦手にしていませんか?			チェック						
	解決策	学年の最後、納得できる状態で6年生への進学ができるといいですね			<input type="checkbox"/>						
SAPIX	5年										
	国語										
学習内容	冬期講習03回 物語文 冬期講習04回 隨筆文 35回 コトノハ／心技体 物語文 36回 知の冒険／詩・短歌・俳句にふれてみよう 説明文 37回 コトノハ／その日の後に 物語文										
家庭学習 ポイント	冬期講習は後半もB授業スタイルの授業で、03回の「物語文」では5年後期の読解の大きなテーマ「中学受験生の日常とは異なる環境におかれた人々の背景や心情を追うこと」を実践していきます。これまでよりも「深く読む」ことができるよう、意識的に取り組んでみましょう。04回「隨筆文」では「事実と筆者の考えを読み分ける」がテーマですね。「文種ごとに読解法を使い分け、技術を横断的に使えること」が5年生の国語の目標です。学年末を意識し、自分の読解力がどのあたりまで到達しているか、冬期講習のテキストでじっくり振り返っておきましょう。論説や物語・詩など文種別に得手不得手があるお子さんは、1月のA授業で読み方の復習に力を入れましょう。1月のA授業では物語文、説明文とともに5年生の読解のまとめの内容になっており、詩・短歌・俳句も扱います。知識は前月に続く形で、品詞の知識、敬語、助詞・助動詞の識別を学習します。B授業は物語文を中心に進みます。										
課題の把握と解決策	チェック1	冬期講習のテキストで「深く読む」ことが実践、実感できましたか?			チェック						
	解決策	苦手な文種がある場合は、1月のA授業で意識して取り組みましょう			<input type="checkbox"/>						
	チェック2	物語文を読む際「映像化」を意識していますか?			チェック						
	解決策	登場人物の顔や服装、背景となる場面なども映像のように想像してみましょう			<input type="checkbox"/>						
	チェック3	隨筆文の読解では、事実と筆者の考えを読み分けることを意識していますか?			チェック						
	解決策	筆者の考え方部分をつなぎ合わせることで、文章の要旨が見えてきます			<input type="checkbox"/>						
	チェック4	詩でよく使われる繰り返し、比喩などの表現の効果が理解できていますか?			チェック						
	解決策	このような技法が使われる部分の裏には、作者の感動があると考えましょう			<input type="checkbox"/>						
	チェック5	短歌や俳句を読むとき、季節を感じながら読んでいますか?			チェック						
	解決策	季語以外にも季節を感じる手がかりはあります			<input type="checkbox"/>						

SAPIX	5年														
	理科														
学習内容	冬期講習02回 電磁石～電気のはたらき⑤～ 35回 中和～物質の性質と変化⑨～ 36回 浮力②～力学⑧～ 37回 月と太陽～天体の動き⑦～														
家庭学習ポイント	冬期講習では02回では「電気のはたらき」の5回めとして、電磁石について学習しました。電磁石では電流の向き、コイルを巻く向きから電磁石のN極、S極がどちらにできるか、そして電磁石の強さを変えるための条件を理解しておくことがポイントです。01回の「磁力と電気」同様、右手を使って確認することを徹底しましょう。35回「中和」では、表やグラフから完全中和点を読み取ることがポイントです。表の読み取りでは、加える塩酸（または水酸化ナトリウム水溶液）の量と残る固体の量の増え方を表の中に書き込み、変化の度合いを確認しましょう。過不足なく完全中和する組み合わせを書き出し、問題で与えられた組み合わせがその何倍になっているか書いて考えるのが「定番」の考え方であり、これは分野を横断して使える書き出しの技術でもあります。36回「浮力」では、図の中に力の向きを表す矢印を書き、数字には単位(cm ³ 、g)を書き込んでおくと良いでしょう。水中に浸かっている部分の体積(cm ³)とかかる浮力の大きさ(g)を混同しないための作業で、こういう作業が、得点力の差になってあらわれます。37回「月と太陽」では、天体の位置関係の図を書いて考えられるかがポイントです。覚えていることも大事ですが、自分で図を書き、それをもとに月の形などを答えられるようにしておくことが大切です。														
課題の把握と解決策	チェック1	電磁石のN極のできる方向を正しく答えられますか？							チェック						
	解決策	これまで通り右手の親指=N極、それ以外の指=電流の向き ですね							<input type="checkbox"/>						
	チェック2	中和の問題では「過不足なく反応する組合せ」を正しく出せていますか？							チェック						
	解決策	表やグラフの変化している点を注意してみましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック3	「水中部分の体積」と「かかる浮力の大きさ」の関係を正しく理解していますか？							チェック						
	解決策	「押しのけただけ押し返される」ので「押しのけた水の重さ=かかる浮力の大きさ」ですね							<input type="checkbox"/>						
	チェック4	月の満ち欠けの様子を、図を書いて説明できますか？							チェック						
	解決策	テキストに出てくる、月が地球のまわりを公転している図を自分で書けるようにしておきましょう							<input type="checkbox"/>						
	チェック5	冬休みに解決しておきたかったことは解決できましたか？							チェック						
	解決策	未完のものがあれば、1月組分けまでの解決を目指しましょう							<input type="checkbox"/>						
SAPIX	5年														
	社会														
学習内容	冬期講習02回 大正時代 35回 戦争の時代（2） 36回 戦後の日本の歩み 37回 歴史のまとめ～入試問題演習～														
家庭学習ポイント	冬期講習02回では「大正時代」が扱われま、覚えるべきエピソードが非常に多い時代が続きます。ある程度時間を、社会の学習に割いて対応することが必要です。1月の平常授業では、昭和時代を戦前と戦後の2回に分けて学習します。こちらも覚えるべきことが多い、激動の時代です。満州事変から始まる15年戦争は、ほぼ1年ごとに重要な出来事が起こります。細部まで一気に覚えるのは大変ですから、1931（満洲事変）,37（日中戦争勃発）,41（太平洋戦争勃発）,45（広島、長崎に原子爆弾投下・ポツダム宣言受諾）といった重要年号から覚えていきましょう。戦後史については、優先的に覚えるべき年号は1950（朝鮮戦争勃発）,51（サンフランシスコ講和条約）,56（日ソ共同宣言）,64（東京オリンピック開催）,65（日韓基本条約締結）,72（沖縄返還・日中共同声明）などです。国際的な話題も多くなってくるので、「冷戦」という言葉の意味を理解し、地図をすぐに開ける状態にしておきましょう。その後、問題演習をしながら、歴史分野のまとめに入ります。また1月の組分けテストには地理分野も出題されるので、デイリーなどを見直す時間をとることを忘れないようにしましょう。														
課題の把握と解決策	チェック1	戦前から戦争終結までの「流れ」をしっかり理解して学習していますか？							チェック						
	解決策	1年毎に事件がおこり、同じ年に複数の事件が起こるのもこの時代ならではです							<input type="checkbox"/>						
	チェック2	戦後の世界を「冷戦」～国際連合を軸に理解できていますか？							チェック						
	解決策	世界地理の知識もある程度必要となります							<input type="checkbox"/>						
	チェック3	ポイントとなる総理大臣の名前を答えることができますか？							チェック						
	解決策	最優先で覚えるべき首相は吉田茂、鳩山一郎、池田勇人、佐藤栄作、田中角栄首相です							<input type="checkbox"/>						
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？							チェック						
	解決策	1月組分けには地理分野も例年出題されています。意識的に地理の後半で学習した内容の復習を							<input type="checkbox"/>						
	チェック5	歴史の学習で「あやふや」になっておる時代はないですか？							チェック						
	解決策	あれば、1月組分けまでの解決を目指し復習しましょう							<input type="checkbox"/>						